

## 天然ガス計量方法 解 説

### 訂 正 票

位置	誤	正
<p><b>4.4</b> 最終段落 (解説図 7 の前)</p>	<p>解説図 7 は、解説図 4 の全サンプルガス (40 種) について、Z 数表 (2015) 及び Z 数表 (1993) で求めた Z 値の、AGA8-92DC 法による値からの誤差を示す。太い縦線の間は一つのサンプルガス (図の下に解説図 4 におけるサンプル番号を示す) の圧縮係数を示し、その間で温度及び圧力が変化する。細かい縦線の間は 0.1 MPa～7 MPa の範囲内で圧力が一定で (グラフ下側に表示)、そのそれぞれの圧力において、温度が -5 °C～+40 °C まで単調に増加する (グラフ上側に表示)。Z 数表 (1993) では、1 MPa を超えると誤差が急激に増えるものが多いが、Z 数表 (2015) では、広い範囲で誤差が十分に小さい。</p>	<p>解説図 7 は、解説図 4 の全サンプルガス (40 種) について、Z 数表 (2015) 及び Z 数表 (1993) で求めた Z 値の、AGA8-92DC 法による値からの誤差を示す。太い縦線の間は一つのサンプルガス (図の下に解説図 4 におけるサンプル番号を示す) の圧縮係数を示し、その間で温度及び圧力が変化する。細かい縦線の間は 0.1 MPa～7 MPa の範囲内で圧力が一定で (グラフ下側に表示)、そのそれぞれの圧力において、温度が -5 °C～+40 °C まで単調に増加する (グラフ上側に表示)。Z 数表 (1993) では、圧力の増加とともに次第に誤差が増えてくるが、Z 数表 (2015) では、広い範囲で誤差が十分に小さい。本体の 12.3.2 では Z 数表 (1993) の使用範囲を 1 MPa までとしているが、この制限は厳密なものではなく目安であり、例えば 1.1 MPa まで使用範囲を広げても誤差の増加は無視できる。</p>
<p><b>5.6.11</b> 解説表 24 項目：標準状態における 体積流量、式(57) 高圧サンプルの欄</p>	<p>24 030.261 598</p>	<p>30 854.045 121</p>

訂正票とは、規格本体以外 (解説ほか) に対する正誤を表します。

令和 6 年 7 月 15 日作成